

2021年度 決算説明会における主な質疑応答

※説明会での質疑応答をそのまま書き起こしたのではなく、簡潔にまとめております。

【各事業に関するご質問】

<鉄道事業・バス事業に関して>

Q 運賃改定に対する考え方について教えてほしい。

A 鉄道のバリアフリー料金制度の活用も含め、運賃改定については検討を進めている。収支の状況によっては、検討の速度を速めることもあると考えているが、現時点では今期の収支状況をもう少し見極めたうえで進めたいと考えている。

<国際物流事業に関して>(決算説明会資料P11～P12、P22 参照)

Q 2021年度業績予想値と実績値との差異について教えてほしい。

A 海上コンテナが不足している状況が想定していた以上に続き、航空輸送へシフトしたことが上振れの大きな要因となった。

Q 2022年度の業績予想値の想定について教えてほしい。

A 前期からの海上輸送の状況が当期の下期には落ち着き、航空輸送から海上輸送へ再びシフトすることを想定していることから減収の予想となった。

Q 長期的な取扱数量の考え方について教えてほしい。

A 取扱数量の増加に向けては、成長企業、成長分野を見極め、現在も掲げている品目戦略を推し進めていきたいと考えている。これから策定する長期ビジョンの中でも、長期的には物流も分散化していき、その中でモノの動きはさらに活性化していこうという見立てもあり、世界の各拠点それぞれのエリアで物量をしっかりと獲得し、西鉄グループの一つの大きな柱としてさらに拡大させていこうと考えている。

【会社全体に関するご質問】

<投資計画に関して>(決算説明会資料P56参照)

Q 次期中期経営計画ではさらに投資額は増えていくのか、またそのための資金調達についての考えを教えてください。

A 次期中期経営計画における投資計画は、福ビル街区建替プロジェクトの投資額が増えてくることになる。その他にも、財務状況や事業環境を見極めながらにはなるが、分譲投資、投融資関係、海外投資も含め、基本的には拡大していきたいと考えている。資金調達については、昨年資本性のあるハイブリッド債を発行したが、引き続き ESG なども視野に入れながら様々な資金調達の手法を検討していきたいと考えている。

以 上